駿台中学生テスト出題のねらい〔中２〕

英語

今回は２学期の後半に実施するテストということで，中１の最初から中２の２学期における英語学習の成果が出やすいテストとなっています。長文問題は２題で，客観問題は基本レベルと応用レベルをミックスした内容となっています。

1 長文読解問題１(物語文)

二人の兄弟が，亡くなった父親から財産を譲り受け，兄が独り占めするのを弟が賢者の知恵を借りてどうにか解決に持っていくという物語文です。問２の適語補充は，兄のアリが牛乳を得ることができたのは，牛の後ろの部分を自分の取り分としたことを，本文の下線部(2)の前の部分から読み取る必要があります。したがって，２つの空所には(注)にある hind「後ろの」と belong to～「～のものである」の過去形の　belonged が入ります。問７の意味選択は，either A or B「A と B のどちらか一方」は，否定文では「A と B のどちらも～ない」と完全否定の意味になることが，正答を選ぶポイントです。問９の要約文完成(適語補充)は，本文全体の流れをつかみ，品詞に注意していけばさほど難しくないでしょう。

2 長文読解問題２(物語文)

ある男性が中学時代に孤独でクラスの同級生にいじめられていたが，二人の心ある男子生徒の親切な行為や贈り物に救われるという話です。問１の内容説明は，下線部(1)の直前の内容を指定の字数の日本語にまとめます。このような問題は，下線部の前後に答えの材料になることが書かれていることが多いので，その部分を読み取り，日本語にすることが必要です。問３の適語選択は，次の段落の nervous「不安な」という語の意味に近い worried が入ると判断します。問６の適語選択は，学校で他の同級生にからかわれ，一人孤独な境遇にいる生徒に対する二人

の男子生徒が取った行動は，まさに映画のヒーローのようだったとするheroesが最も適切です。friendsを入れて「映画の中の友達」では，二人の男子生徒の素晴らしい行動を表す語としてはふさわしくありません。

3 英問英答問題(数字を答える)

計算問題としてはごく基本的なものです。英語で出題されると戸惑う人もいるかもしれません。

4 誤文訂正問題

いずれもごく基本的な問題です。１では距離を尋ねる場合は How far で始まる疑問文，３の感嘆文は形容詞の後に S＋V[主語＋動詞]の形がくるので，How で始まる文にすることは大事な文法事項です。

5 共通語問題

２の help oneself to～「～を自由に取って食べる[飲む]」，４の hear from～「～から便りがある」は今後もよく出題されるので，覚えておくべき頻出表現です。

6 対話文完成問題

１と２がやや難問です。１は「回数」という意味の times，２は直訳で「価格は何か」という意味になり，What が入ります。

7 整序英作文問題

いずれも日本語の意味が与えられていないので，どのような意味になるか考えながら英文を作る必要があります。３は<it takes 時間 to ～>「～するのに時間がかかる」を知らないとうまく作れないでしょう。

8 適語補充問題

４の calendar「カレンダー」、５の February「２月」のつづりも要注意です。　以上

駿台中学生テスト出題のねらい〔中２〕

数学

基礎的な計算力や知識を問う問題から思考力を問う応用問題まで幅広く出題しています。確実に点数を取るべきところはしっかりと得点し、正解することが出来なかった問題は理解するまで何度も解き直しをすることで、今後の学力向上に必ずつながります。

1　計算問題

基本的な計算問題です。(2) や (3) のような問題を確実に取りきる力が難関校受験には必須となります。正解を得られなかった生徒は、ただの計算ミスと考えず、間違えた理由をとことん追求してください。

2　小問集合

一次関数、連立方程式、平行線と角、図形の移動からの出題です。どの問題も奇抜な発想を必要とするものではありません。問題の条件を正しく読み取り、確実に得点したい問題です。

3　連立方程式の利用（濃度）

食塩水に関する問題です。食塩水は高校入試においてよく出題されるテーマであると考えています。(2) はあまり見慣れない問題と感じるかもしれませんが、食塩の重さに注目することで道筋がたてられます。

4　関数と図形

一次関数と図形に関する問題です。比較的オーソドックスな問題であり、(2)（ｉ）は関数において必ず定着させたい考え方となります。また、多少の計算力も必要となる問題であるので、ケアレスミスに注意し、丁寧に解いてほしい問題です。

5　三角形の合同

三角形の合同を利用した問題です。(2) はやや解きにくい問題のように感じるかもしれませんが、三角形

における面積から高さを逆算する考え方は、正確に使いこなせるところまで定着させたいものとなります。

6　空間図形

　三角柱の分割と体積および表面積に関する問題です。求める辺の長さを文字で置くことで式をたてることができます。与えられた条件を正確に処理していくことで解くことが出来る問題といえますが、文字の扱いに慣れていないと多少は苦労するかもしれません。　以上

駿台中学生テスト出題のねらい〔中2〕

国語

二年生の夏休みまでに身についた、漢字や文法などの基本的な事項を把握しているか、論説文や随筆文など文章を読み解く力が身についているかを確認する内容となっています。基本から応用の幅広いレベルの読解・記述・文法問題を出題しました。二学期以降の学習モチベーションを上げることにも適切なテストになっています。

一　漢字の読み書き

形の似た漢字や読み間違いやすい漢字に注意して、正しく漢字を読み書きする力は、文章の内容を理解するうえでも国語力の土台となります。学習した漢字は意味を含めて確実に覚えていきましょう。(1)・(2)・(5)は入試でも頻出です。(8)は言葉としてもあまり使われないかもしれませんが、知識として覚えておきましょう。

二　論説文の読解　　やまだようこ『こころが育つ環境をつくる』からの文章。

筆者は心理学者で、こども言葉の発達についての研究で名高い人です。この文章では、「ものづくり」という言葉をもとに、日本人特有の製造業のあり方について論じています。「二項関係」の西欧と「三項関係」の日本の対比をふまえて、筆者の考える今後の製造業のあり方について読み取っていくことが求められ、文章の要点をまとめることをねらいとしています。二つのことがらの対比がうまく読み取れているか、それを書きだすことが出来るかを**問七**で確認しています。

三　随筆文の読解　　岸本尚毅『十七音の可能性』。

筆者は俳人です。この文章では、俳句を落語と比較して、「受け手の想像力に依存する」という共通点を挙げたうえで、だからこそ持ち得る俳句の強みについて説明しています。筆者の考える「俳句の付加価値」について、正確に読み取ることができているかを確認するのがねらいです。

また同時に文中の俳句によって、句切れや季語といった俳句の知識、俳句の鑑賞についても確認をしています。

四　文法

動詞の活用についての問題です。基本的な文法事項が身に付いているかを確認することがねらいです。文法の問題の中で動詞の活用は、規則性を理解すれば一番解きやすい文法事項でしょう。文法の問題は雰囲気で解くのではなく、しっかりとした文法知識を得たうえで確実に取り組んでいきましょう。　　以上